

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

3年国語 単位:%	教科の正答率			観点別正答率				
	全体	基礎的 知識	応用力	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く 能力	書く 能力	読む 能力	言語についての 知識・理解・技能
七北田小	83.3	86.4	◎44.6	◎91.7		◎86.1	◎78.7	84
期待正答率	74.6	78	32.5	73.3		67.9	65	79.7
仙台市	79.7	83.1	36.9	82		76.5	70.9	83.6

<問題の内容別正答率>

[単位:%]

3年問題の内容	七北田小	期待正率	仙台市
かん字を読む	92	84.2	90.1
かん字を書く	83.5	83.3	87.1
ことばのがくしゅう	72.9	67.5	68.8
ものがたりの内ようを読みとる	◎75.9	65	70.3
せつ明文の内ようを読みとる	◎81.5	65	71.5
作文	◎91.7	73.3	82

<結果の分析>

- 国語の正答率は、基礎的知識、応用力ともに期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 特に応用力は、仙台市平均正答率を7.7ポイント上回り、2年生のときに身に付けた基礎的知識を十分に活用できていることが分かります。
- 観点別の正答率は、4つの観点のうち、3つの観点で仙台市平均正答率を5ポイント以上上回っており、3年生児童の国語への関心・意欲が高く、国語科学習への前向きな姿勢をうかがうことができます。
- 問題の内容別の正答率は、「かん字を書く」問題を除いて仙台市平均正答率を上回っています。特に、「ものがたりの内ようを読みとる」問題や「せつ明文の内ようを読みとる」問題、「作文」の問題の正答率は、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回り、書いたり文章を正しく読み取ったりする力がしっかりと身に付いていることが分かります。
- 「かん字を書く」問題は、仙台市平均正答率より3.6ポイント下回り、漢字を読む力は身に付いているものの、2年生までに学習した漢字を書く力の定着が不十分であることが分かります。「午後」、「兄」、「数える」を書く問題に誤答が多く見られました。
- 作文の問題は、休日にしたことについて自分の考えや思いを交えながら書くというものでしたが、相手に自分の考えが明確に伝わるように段落相互の関係に注意しながらとてもよく書くことができていました。

<結果を踏まえた対策>

- ① 文学的な文章や説明的な文章の解釈に関する指導については、文章を読む目的に応じて中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読む学習を工夫し、要旨を確実に捉えさせるようにしていきます。
- ② 漢字の指導については、各単元において、新出漢字の指導の時間をきちんと確保するとともに、筆順や部首などを意識させながら指導をしていきます。また、宿題で取り組ませる漢字練習も継続し、担任がしっかりと評価しながら一層の漢字力の向上に努めていきます。
- ③ 作文はよくできていましたが、若干個人差があります。書こうとすることの中心を明確にして、主語・述語のつながりに気を付けて書くなど、重点的に指導をしていきます。

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

3年算数 単位: %	教科の正答率			観点別正答率			
	全体	基礎的 知識	応用力	算数への 関心・意欲・態度	数学的な考 え方	表現・処理	知識・理解
七北田小	84.9	87.4	72.3	79	80.7	89	82
期待正答率	76.9	79.8	62.5	70.7	71.6	81.8	73.7
仙台市	82.2	84.8	69.3	76.2	78.5	87.1	77.8

<問題の内容別正答率>

[単位: %]

3年問題の内容	七北田小	期待正答率	仙台市
10000までの数	◎82.5	75	76.3
たし算	80.4	74	79.1
ひき算	88.9	80	86
かけ算のもんだい	84	73.8	81.2
かけ算九九	94.5	90	96.5
時ごとと時間	92	82.5	90.4
長さ・かさ	74.5	66.3	70.3
いろいろな形	◎83	73.3	78
はこの形	81.1	72.5	76.7

<結果の分析>

- 算数の正答率は、基礎的知識、応用力ともに期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 観点別の正答率は、4つの観点すべてにおいて、期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 問題の内容別の正答率は、「かけ算九九」の問題を除いて仙台市平均正答率を上回っています。特に、「10000までの数」の問題や「いろいろな形」の問題の正答率は、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回り、位取り記数法や三角形や四角形の特徴をしっかりと理解できていることが分かります。
- 「かけ算九九」の問題は94.5%と高い正答率ですが、仙台市平均正答率との比較では少し下回っていました。2年生で学習したかけ算九九の、3、6、7の段の問題で誤答が見られました。
- 「長さ・かさ」の問題の正答率は、仙台市平均正答率を上回ってはいるものの、1リットルが10デシリットルであることの理解が不十分であることが分かりました。

<結果を踏まえた対策>

- ① たし算、ひき算では、繰り上がりや繰り下がりがある筆算が確実にできるように、繰り返し指導を充実し、習熟を図っていきます。
- ② かけ算九九は、わり算でも必要とされるとも重要な計算です。暗記するだけではなく、様々な問題に上手に活用していくことができるようにするために、九九を繰り返し指導しながらかけ算学習の意味やきまりを理解させる指導を充実させていきます。（「3個の4つ分を $3 \times 4 = 12$ と表す」、「6の段の九九は6ずつ増える」など）
- ③ 宿題では、学習の進捗と照らし合わせて内容をよく吟味し、つまずきのある内容を強化できる問題などを取り上げ、繰り返し取り組ませるようにしていきます。
- ④ 長さやかさ、時間と時刻、重さなどについては、日常生活で意識した指導を行ったり、体験的な活動を取り上げた指導を行ったりして、児童が具体的な場面で実感的に捉え理解していくことができるよう、指導をしていきます。
- ⑤ かけ算九九、時間と時刻、長さやかさなど、ご家庭でも機会を捉え、お子さんに問い掛けていただくと幸いです。（「今、何時かな」、「ジュースは何リットルあるかな」など）

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

4年国語 単位:%	教科の正答率			観点別正答率				
	全体	基礎的知識	応用力	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く 能力	書く 能力	読む 能力	言語についての 知識・理解・技能
七北田小	74.8	76.4	60.6	74.4		68.4	70.2	77.2
期待正答率	68.3	70	53.3	71.7		63.9	61.9	70.9
仙台市	72.5	74.1	58.5	76		69.1	68.1	74.1

＜問題の内容別正答率＞

[単位:%]

4年問題の内容	七北田小	期待正答率	仙台市
漢字を読む	85.1	79.2	82.1
漢字を書く	78.2	74.2	76.4
言葉の学習	69.3	60.8	64.9
物語の内ようを読み取る	71.5	66.3	72.4
せつ明文の内ようを読み取る	◎69	57.5	63.8
作文	71.7	67.5	72.6

＜結果の分析＞

- 国語の正答率は、基礎的知識、応用力ともに期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 観点別の正答率は、「国語への関心・意欲・態度」、「書く能力」では仙台市平均正答率を下回っています。
- 問題の内容別の正答率は、「物語の内ようを読み取る」問題、「作文」の問題を除いて、仙台市平均正答率を上回っています。特に、「言葉の学習」の問題、「せつ明文の内ようを読み取る」問題の正答率は、仙台市平均正答率を高く上回っており、ローマ字や指示語の使い方がきちんと理解できていること、説明的な文章の内容を読み取る力が十分に身に付いていることが分かります。
- 一方で、「物語の内ようを読み取る」問題の正答率は仙台市平均正答率よりわずかですが下回っており、書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を一層育てていく必要があることが分かりました。
- 「漢字を読む」、「漢字を書く」問題の正答率は、仙台市平均正答率と同程度ですが、「屋上」や「対岸」、「れんしゅう」や「けってい」などの読み書きに誤答が見られました。また、児童の漢字の習得の度合いに差があることも分かりました。
- 「作文」は、楽しい学校行事を紹介する問題でしたが、残念ながら無回答率が12.5%と高くなっていました。(何も書いていない)相手に自分の考えを明確に伝えるように気を付けながら、いくつかの段落に分けて書く力の定着が不十分であることが分かりました

＜結果を踏まえた対策＞

- ① 物語文や説明文の読み取りにおいては、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと、段落ごとに書かれている文章の要点を的確に押さえて読むことなどについて、丁寧に指導をしていきます。また、スキルタイムや家庭学習においても、読解力を育成するための問題に取り組みせ、習熟を図っていきます。
- ② 朝読書や家庭での音読を大事にして、読書に親しむ態度を育てていきます。そして、身近に必ず本がある生活を推奨していきます。
- ③ 学校だけでなく、家庭学習における漢字練習を今後も継続し、新出漢字および3年生までに習った漢字を正しく書く力を確かなものにしていきます。また、積極的な辞書の利用を促し、調べる習慣を付けさせていきます。国語辞典や漢字辞典などの使い方を理解させ、どの教科でも疑問に思ったときや必要なときに即時に利用できるように指導していきます。
- ④ 作文については、国語だけでなく他教科の学習や日常生活を通して、文章による記述の機会を数多くもたせ、書く力を育てていきます。

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

4年算数 単位：%	教科の正答率			観点別正答率			
	全体	基礎的 知識	応用力	算数への 関心・意欲・態度	数学的な考 え	表現・処理	知識・理解
七北田小	81.3	84.2	◎66.5	78.1	69.7	84.8	80.7
期待正答率	75	78.7	55.8	72.5	59.7	79.3	74.8
仙台市	78.7	82.1	61.2	74	65.7	82.9	77.6

＜問題の内容別正答率＞

[単位：%]

4年問題の内容	七北田小	期待正答率	仙台市
10000より大きい数	80	75	78.1
かけ算	77.9	69.2	73.2
わり算	89.3	80.8	88.1
たし算とひき算	90.4	82.5	87
分数と小数	76.9	75.7	74.8
かさ・重さ・長さ	85.8	81.7	83.5
時こくと時間	85.8	80	86.8
円と球・三角形	74.6	67.5	72.6
□を使った式	◎64.2	52.5	56.2
ぼうグラフと表	95.4	87.5	92.2

＜結果の分析＞

- 算数の正答率は、基礎的知識、応用力ともに期待正答率、仙台市平均正答率を上回り、特に応用力においては、仙台市平均正答率を5.3ポイント上回っています。
- 観点別の正答率は、4つの観点すべてにおいて仙台市平均正答率より上回っています。
- 問題の内容別の正答率は、「時こくと時間」の問題を除く問題で仙台市平均正答率を上回っています。特に、「□を使った式」の問題では、仙台市平均正答率を高く上回り、問題文の言葉に着目し、未知数を□として数量の関係を表す式によさに気付き、問題解決に進んで用いようとする力が身に付いています。
- 基本的な四則計算はよくできていましたが、繰り上がりや繰り下がりが2回以上あるたし算やひき算、繰り上がりが6回あるかけ算など、計算の仕方が複雑な問題になると誤答率が高くなっていました。
- また、3桁×1桁のかけ算の筆算の仕方を文章で記述する問題の無回答率は16.7%と高く、日常の授業における言語活動を、一層充実させる取組が必要であることが分かりました。
- 「分数や小数」の問題では、「1-分数」の計算の答えに間違いが多く見られました。
- 「時こくと時間」の問題では、ある時刻の一定時間前の時刻、2つの時刻を比較して、その間の時間を求める問題でつまずきが見られました。

＜結果を踏まえた対策＞

- ① 問題を解決するときには、その考え方をノートに文章で記述したり、言葉で説明したりするなど、言語活動を充実させるよう指導の工夫を図っていきます。
- ② 四則計算の仕方については、その都度繰り返し丁寧に指導し、正しい答えを確実に導き出すことができるように指導をしていきます。また、家庭学習やスキルタイムでも繰り上がりや繰り下がりの回数が多い問題等に取り組み、計算技能の習熟を図っていきます。
- ③ 分数については、これから仮分数と帯分数の意味を知り、同分母のたし算とひき算についても学習をします。その際、1を表す分数についての復習と確認をしっかり行いながら学習を進めるようにします。
- ④ 時刻や時間については、日常生活の中で意識させながら意図的に指導をしていきます。

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

5年国語 単位:%	教科の正答率			観点別正答率				
	全体	基礎的知識	応用力	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く 能力	書く 能力	読む 能力	言語についての 知識・理解・技能
七北田小	◎79.8	◎82.7	◎53.4	◎96		82	◎70.1	81.7
期待正答率	69.8	72.2	48.3	78.3		68.9	60	73
仙台市	74.5	77.4	48.3	88.8		77.3	63.9	76.9

<問題の内容別正答率>

[単位:%]

5年問題の内容	七北田小	期待正答率	仙台市
漢字を読む	93.5	85	91.8
漢字を書く	78	72.5	73.5
言葉の学習	◎75	62.5	66.2
物語の内ようを読み取る	75.5	67.5	70.9
説明文の内ようを読み取る	◎64.8	52.5	56.9
作文	88.4	73.8	83.7

<結果の分析>

- 国語の正答率は、基礎的知識、応用力ともに期待正答率、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回っています。4年生のときの学習内容が十分に身に付き、大変良好な状態です。
- 観点別正答率でも、4観点のうち、「国語への関心・意欲・態度」、「読む能力」の2つが仙台市平均正答率を5ポイント以上上回り、「書く能力」、「言語についての知識・理解・技能」の2つの観点も仙台市平均正答率を高く上回っています。
- 問題の内容別の正答率は、「言葉の学習」、「説明文の内ようを読み取る」問題で仙台市平均正答率を5ポイント以上上回ってはいますが、他の内容と比べて、高い正答率ではないことが分かります。
- 「言葉の学習」の問題では、修飾語が詳しくしている言葉を選択する問題、漢字辞典の使い方、部首名や総画数を記述する問題で誤答が多く見られました。
- 「説明文の内ようを読み取る」問題は、示された段落の要旨を要約して文章で記述するものや、筆者が最も言いたかったことを選択するものでしたが、少し難しかったようです。

<結果を踏まえた対策>

- ① 漢字の学習については、授業中の指導だけでなく、家庭学習で毎日継続して練習するよう指導をしていきます。
- ② 説明的な文章、文学的な文章、ともに、音読を積極的に取り入れた学習を日常的に積み重ね、大事な言葉の意味をしっかりと押さえながら、文章の内容を的確に捉えさせる指導の充実を図っていきます。
- ③ 説明的な文章では、筆者がどのような事実を事例として挙げ理由や根拠としているのか、どのような感想や意見をもって読み手を説得しようとしているのかなど、筆者の考えを的確に理解し、さらに、自分の考えも明確にしていくことを意識させる指導をしていきます。また、段落毎の要旨の要約や、文章全体の要旨などを文章に書くことについての習慣を付け、書く力も高めていきます。
- ④ 作文指導では、書こうとすることの中心を明確にして理由や事例を挙げながら書いたり、いくつかの段落に分けて書いたりする指導を、授業中や家庭学習の日記などで、意識して指導をしていきます。

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

5年算数 単位：%	教科の正答率			観点別正答率			
	全体	基礎的 知識	応用力	算数への 関心・意欲・態度	数学的な考 え	表現・処理	知識・理解
七北田小	80.9	83.6	67	86.1	70.7	84.8	77.4
期待正答率	75.7	78.4	60.8	77.5	65	80.9	71.3
仙台市	78.7	81.6	63.4	84.5	69.1	83.8	73.8

<問題の内容別正答率>

[単位：%]

5年問題の内容	七北田小	期待正答率	仙台市
億と兆	82.4	77.5	80.5
わり算	89.6	86	89.6
小数	92.7	87.5	90.4
がい数の表し方	75	70	72.4
分数	83.3	80.8	83.8
角の大きさ	77.3	72.5	73.5
面積	89.8	80	88.6
いろいろな形	◎81.3	70	74.8
折れ線グラフと表	◎66.9	59	60.8
計算のきまり	49.1	52.5	51.7

<結果の分析>

- 算数の正答率は、基礎的知識、応用力ともに期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 観点別正答率も同様に、期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 問題の内容別の正答率は、「いろいろな形」、「折れ線グラフと表」の問題の正答率が仙台市平均正答率を5ポイント以上上回りましたが、「わり算」の問題の正答率は、仙台市平均正答率と同程度、「分数」と「計算のきまり」の問題の正答率は、仙台市平均正答率を下回っています。
- 「わり算」の問題では、3桁÷1桁で余りがある場合の筆算での誤答が多く見られました。割り進め、商に0を立てる必要が出てきた場合、立てるのかどうするのか、その判断に迷いが見られ、誤答に結び付いていることが分かりました。
- 「分数」の問題は、分子が1の分数が何個で1になるかを問うもの、帯分数、仮分数、整数の大きさを比較するもので、ともに、分数の意味と表し方についての理解が不十分であるための誤答が見られました。
- 「計算のきまり」の問題は、四則の混合した式の計算の順序を問うもの、かけ算で、分配法則を使ったときの式の表し方を問うものでしたが、どちらも正答率が低くなっていました。
- 四則の混合した式や（ ）を用いた式についての正しい理解と正しい計算、四則に関して成り立つ性質についての理解、この2つの内容について復習し、今後の算数学習に必要な応じて活用できるようにする必要があります。

<結果を踏まえた対策>

- ① わり算については、基本的な計算について繰り返し指導を行い、商の立て方や修正の仕方、余りの処理の仕方などについて確実に理解できるよう重点的に指導をしていきます。
- ② 分数については、これから行う分数の学習の際に、プリントや家庭学習などでつまづきがあった内容について復習をしていきます。
- ③ 整数の計算のきまりは、小数でも成立することを学習していますが、交換、分配、結合それぞれの法則を問題解決の場で適宜活用できる力は十分ではありません。そのようなパターンの問題に慣れさせるとともに、法則を使って解決した方が簡便であることについても理解させていきます。
- ④ 「折れ線グラフと表」の問題は、2つの折れ線グラフの数値を比較するものでした。仙台市正答率より高い正答率になっていましたが、まだまだ読み取りが十分とは言えません。5年生では、これから割合を表す帯グラフや円グラフについて学習しますが、4年生で学習した折れ線グラフについても復習をしていきます。

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

6年国語 単位：%	教科の正答率			観点別正答率				
	全体	基礎的 知識	応用力	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く 能力	書く 能力	読む 能力	言語についての 知識・理解・技能
七北田小	79.4	81.3	62.8	92.8		84.3	66.5	82.7
期待正答率	72	73.7	56.7	81.7		72.8	62.5	74.7
仙台市	76.1	77.9	60	91.7		82.7	65.3	78.2

<問題の内容別正答率>

[単位：%]

6年問題の内容	七北田小	期待正答率	仙台市
漢字を読む	93.6	85	90.4
漢字を書く	◎79.2	71.7	72.4
言葉の学習	75.4	68.3	71.5
物語の内容を読み取る	76.1	70	74.9
説明文の内容を読み取る	56.8	55	55.7
作文	90.5	77.5	88.7

<結果の分析>

- 国語の正答率は、基礎的知識、応用力ともに期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 観点別正答率も、仙台市平均正答率を上回っています。
- 問題の内容別の正答率も、全て仙台市平均正答率を上回っています。特に、「漢字を書く」問題の正答率は、仙台市平均正答率より6.8ポイント高くなっています。
- 漢字の読み書きは、他に比較してよくできていますが、問題によっては正答率が低いものもありました。（「貿易」、「勢い」の読み方、「おうふく」、「かりの予定」の書き方など）
- 説明的な文章の読み取りについては、4つの問題の平均正答率が約60%、中でも、書かれている文章の内容を要約する問題では、約35%とやや低い正答率になっていました。
- 作文は、お世話になった方へお礼の手紙を書くときに、手書きがよいかパソコンで作成するのがよいか、自分の考えとその根拠を2つの段落に区別して書くという問題でしたが、約85%以上の児童が、読み手のことを考え、効果的に書くことができていました。

<結果を踏まえた対策>

- ① 中学校に向けて、一層読書に親しませるよう指導していきます。そして、目的に応じて複数の本や文章などを選んで比べて読むこともさせながら、知識や情報を豊かにしたり読書の範囲を広げたりすることにならせていくことができるようにします。
- ② 説明的な文章の読み取りについては、目的に応じて、文章の要旨をとらえたり自分の考えを明確にしながらかんたんに読むことを意識させながら指導をしていきます。文章の重要な点はどこか的確に押さえる、筆者の意図や思考を想定しながら自分の考えを明確にするなど、順序立てて分かりやすく書く指導と関連付けながら力を付けていきます。
- ③ 漢字練習は家庭学習でも取り組んでいますが、卒業までに小学校で習得した漢字の全てを読むことができるように、また、ノートや作文などで漸次習得した漢字を使用して文章を書くことができるように、励ましていきます。

■本校の正答率が、仙台市平均正答率を5ポイント以上上回るものに、◎がついています。

6年算数 単位：%	教科の正答率			観点別正答率			
	全体	基礎的 知識	応用力	算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え	表現・処理	知識・理解
七北田小	79.2	81.3	70.2	73.6	73.3	78.1	84
期待正答率	74.3	76.3	65.7	71	67.1	73.8	78.7
仙台市	76.6	78.5	68.4	72.7	70.6	75.7	81.1

<問題の内容別正答率>

[単位：%]

6年問題の内容	七北田小	期待正答率	仙台市
整数のなかま分け	◎84.1	76.7	78.2
小数	77.8	73.3	74.7
分数	81.8	74.3	77.5
三角形と四角形の面積	84.1	78.3	80.6
体積	91.7	82.5	89.9
単位量あたりの大きさ	64.7	57.5	60.5
図形の角と円周	75.8	76	76.8
合同と立体	87.2	83.3	86.1
百分率とグラフ	66.7	65	66.2

<結果の分析>

- 算数の正答率は、基礎的知識、応用力ともに、期待正答率、仙台市平均正答率を上回っています。
- 観点別正答率も、仙台市平均正答率を上回っています。
- 問題の内容別の正答率は、「図形の角と円周」の問題を除き、仙台市平均正答率を上回っています。
- 「整数のなかま分け」の問題の正答率は仙台市平均正答率より5.9ポイント高く、偶数と奇数、約数と倍数の意味をしっかりと理解することができています。
- 「図形の角と円周」の問題では、円の半径から円周を求める問題や、三角形や四角形の内角の和を理解し、1つの内角を求める問題の正答率が低くなっていました。多角形や正多角形、円など、平面図形の性質について、しっかりと復習をする必要があります。
- 「百分率とグラフ」の問題は、「示された金額(元値)の何パーセント引きにあたる金額(売値)」を求める問題で誤答が多く見られ、学習した内容を日常生活で活用できていないことが分かりました。

<結果を踏まえた対策>

- ① 小数や分数については、これからの授業の中でも前学年に戻って指導を行い、その意味について正しく理解して適切に活用できるようにしていきます。
- ② 三角形や四角形の面積を求めたり、円の円周、面積を求めたりする公式を確実に覚えさせ、問題で適切に活用できるよう、日常の授業の中で繰り返し指導していきます。また、スキルタイムや家庭学習などで、図形のスキルを高める問題に多く取り組ませていきます。
- ③ 単位量あたりの大きさ、百分率や割合に関する学習についても、スキルタイムや家庭学習などのプリントで取り組ませていきます。また、日常生活で用いられている便利な表現であることに気付き、いつでも活用できるように、折に触れ指導をしていきます。

平成 23 年度

仙台市学習状況調査の結果と考察

以下に調査結果をお知らせ致します。質問数は、2年生から4年生までは41問、5年生と6年生は70問でした。共通の質問と高学年のみの質問がありますが、その中から、今年度の本校の協働型重点目標に関するものについて選択して考察しました。(数値は小数第一で四捨五入して表示しています。)

1. 学校生活について

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	友達に会えるから、毎日学校に行きたくなる。	93	94	84	94	94
2	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	98	99	98	98	99
3	学校のきまりを守っている。	98	95	85	90	84

- 多くの児童が学校生活を楽しみにしている様子をうかがうことができます。また、いじめは「いけないことである。」と認識している児童が約99%と、大変好ましい結果になっています。
- きまりについては、学校内外にわたりきまりを守ることの大切さを指導していきます。特に、交通安全については、学校でも折りに触れ指導をしますが、ご家庭でも通学路の安全や交通ルール、自転車の乗り方などについてお声掛けいただきますようお願い致します。

2. 授業・学習意欲について

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	学校では、好きな授業がある。	98	99	95	98	93
2	自分自身の力で、何とかして答えを見つきたい。	99	96	94	95	86
3	勉強が分かるようになると、面白いと感じる。	95	96	83	94	91
4	勉強したことは大人になった時に役に立つと思う。	97	100	95	98	88
5	夢中になってやる、好きなことがある。	94	95	99	98	94
6	授業では、学級の友達との間で、話し合う授業をよく行っていると思う。				88	84
7	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。				86	91
8	先生の説明や他の人の発表に疑問をもった時、進んで質問することができる。				58	33

- どの学年の児童も問題に進んで取り組み、解決しようと一生懸命頑張っていることが分かります。勉強したことが大人になった時に役に立つと思う気持ちや、勉強が分かるようになると面白いと感じている児童の気持ちを大切に育てていきます。
- 新学習指導要領では、言語活動を充実させることとしています。本校では、どの教科の学習でも考えを話したり、互いに意見を述べ合ったりする授業に力を入れています。さらに、分からないときや疑問に思ったときなども進んで質問して、授業中に解決できるよう支援していきます。

3. 家庭生活について

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	朝食を食べずに登校する日がある。	10	12	7	7	11
2	朝食は、主食とおかずを食べている。	84	73	83	80	82
3	家の人に、話をしっかりと聞いてもらっている。	92	84	87	87	91
4	家の手伝いをしている。	86	77	78	75	73
5	家での生活では、家の人々の約束を守っている。	93	94	87	84	90

- 児童の中には、朝食を食べずに登校する日があったり、朝食をとっていてもバランスが十分でなかったりする場合があることが分かります。東北大学の川島隆太教授からは、朝食の重要性について何度も講演していただいています。そして、おかずがない、少ない場合は、記憶したり作業したりする力が十分に発揮できないといった、朝食と脳活動の関係についても指摘しています。朝食は、お子さんが意欲的に学習に取り組むための大切なエネルギーの源です。また、食を通じて豊かなコミュニケーションができるように、ご家庭でのご協力をよろしくお願い致します。
- 手伝いについては、学年が上がるにつれて肯定的な割合が少なくなっていることが気になります。

高学年の家庭科では、体験的な学びを通して家庭生活を大切にしようとする意欲や態度を育むことを目標としています。夕食の準備を一緒に行ったり、布団をたたむことやお風呂掃除を手伝いの1つにしたりするなどして、お子さんが家族の一員であり家庭生活の営みにかかわっていることを意識させていただきたいと思います。そして、役割をきちんと果たすことができれば、大いに誉めてあげてください。

4. 自由時間について

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	1日当たり、2時間以上、テレビやDVDを見たり、ゲームをしたりしている。				61	62
2	携帯電話で通話やメールをしている。				17	36
3	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っている。				24	40
4	携帯電話のメールがきたら、30分以内に返事をしなければいけないと思っている。				70	62

- 自由時間の過ごし方については、高学年児童を対象とした質問でした。2時間以上テレビを見たりゲームをしたりしている児童は5年生、6年生ともに約60%になっています。次の「5. 家庭学習」との関連もありますが、学校から帰宅後の時間の使い方について見直し、生活習慣の改善が必要な児童がいることが分かります。
- 携帯電話については、学校でも折に触れて適切な使用の仕方について指導をしていきますが、ご家庭でも、約束を守って使用するようお話してください。

5. 家庭学習等について

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	家庭で、1日1時間以上勉強する。	46	34	31	46	71
2	学校に持っていくものを、前日か朝に確かめている。	83	95	86	88	93
3	学校の宿題を忘れてしまうことがある。	34	41	39	55	41
4	自分で計画を立てて勉強をしている。				57	62
5	学校の授業の予習をしている。				50	39
6	学校の授業の復習をしている。				68	48
7	テストで間違えたところを後で勉強している。				63	51

- 家庭で1日1時間以上勉強している5年生は約46%、6年生は約71%、ともに仙台市平均を上回っていました。特に6年生は23ポイントも高く、これから中学校に進学するにあたり、とても好ましい状況にあります。
- 5年生と6年生は4月から自主学習を推奨していますが、児童の多くが自らの課題を踏まえて内容を考え、意欲的に取り組んでいるようです。宿題だけでなく、予習や復習などはもちろんのこと、自分が苦手とする内容にも一層取り組んでいくことができるようにさせていきます。
- しかし、宿題を忘れてしまうことがある児童の割合がどの学年でも30%以上であり、とても残念です。「4. 自由時間」でも触れましたが、お子さんが、家庭学習の習慣が獲得できていない場合は、帰宅後の時間の使い方について、お子さんと相談していただくことをお願い致します。
- また、学習用具の準備ができていないと、学校の授業に意欲的に取り組むことができません。学校でも繰り返し指導していきます。

6. 社会・地域とのかかわりについて

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	地域の中で知っている人に会ったときは、挨拶をしている。	95	97	88	89	83
2	新聞やテレビのニュースなどに、関心がある。				73	72
3	地域の歴史や自然について、興味や関心がある。				75	76
4	地域の行事に参加している。				55	58

- 挨拶については、「進んで元気よく挨拶しよう」を学校の年間生活目標に掲げています。授業参観や学校行事でご来校いただいた際の児童の挨拶はいかがでしょうか。七の付く日のおはよう運動の日

に昇降口に立つ児童も増え、児童には、いつでもだれにでも挨拶しようとする気持ちが育まれています。最近では朝だけでなく、廊下で「こんにちは」という声も聞こえるようになってきました。いつでも、明るい笑顔と爽やかな挨拶の音が響く学校となるよう、今後も努めていきます。

- 残念ながら地域の行事への参加率は、数値で見ると高い結果にはなっていません。これは、仙台市平均正答率との比較でも、約15ポイント下回る結果になっていました。しかし、七北田川ふれあいマラソン、泉区ふるさとまつり、キャンプだホイ！、泉マルシェ、ドッジビー大会、親子キャンプなどには多くの児童が参加しています。子ども会の活動内容は会によって異なっているので一概には言えませんが、児童の「地域の行事」についての捉え方に差があり、数値では低い結果になってしまったものと思われます。
- 地域の歴史や自然についての興味・関心度は、5年生、6年生ともに仙台市平均より5ポイント以上高くなっていました。今後も、児童が進んで地域で多くの人とかかわり、貴重な体験を積み重ねていくことの意義を踏まえ、より一層の指導の充実を図っていきます。

7. 道徳心 挑戦・夢について

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	人の役に立つ人間になりたいと思う。	94	90	88	94	95
2	人が困っている時は、進んで助けている。	91	76	71	84	85
3	自分には、よいところがあると思う。	90	82	69	72	67
4	難しいことでも、失敗を恐れずにチャレンジしている。	90	86	76	82	69

- 児童の多くが人の役に立つ人間になりたいと考え、人が困っている時は、進んで助けていることが分かります。震災で多くの人に助けていただいたり励ましていただいたりしたことを忘れずに、今度は自分が何かしてあげたいと思う児童の豊かな心を一層育てていきます。
- しかし、豊かな心の育成は児童の年齢に関係なく育むものであり、学校教育と家庭教育との連携がぜひとも必要です。正直な心、過ちを素直に改める心、善を行う心、思いやりや親切にする心、真心をもって接する心、感謝する心、友達を理解し信頼する心、謙虚な心、感動する心、物を大切にすること、約束を守る心など、まだまだたくさんありますが、児童の素直な気持ちを大切に一人一人に寄り添いながら育てていきます。ご家庭でのお力添えもお願い致します。
- 自分にはよいところがあると思う児童の割合は、2年生、3年生、5年生は仙台市平均を5ポイント以上上回っていました。昨年度との比較では、どの学年も前学年の結果より下回り、学年が上がるにつれて、客観的に「自己のよさ」に気付いたり、認めたりすることができにくくなるのが分かります。だからこそ、誉めて伸ばすことが大事であることをあらためて感じます。人は誰でも信頼する相手から期待され励まされると、その期待に応えようと頑張ります。今後も児童自身がよさに気付き自信をもつとともに、一層、よさを伸ばす教育をしていきます。

8. 自分づくりについて

[単位：％]

NO	質問/学年	2	3	4	5	6
1	将来の夢や目標をもっている。	95	93	87	93	84
2	自分の将来を考えると、楽しい気持ちになる。	92	88	75	82	78
3	自分の将来について、家の人と話し合っている。	64	88	63	58	62
4	将来の可能性を広げるために、勉強を頑張っている。				72	65

- 大きかったり小さかったり、学年によって人によって様々だと思いますが、将来の夢や目標をもつことはとても大切です。約90%の児童が夢や目標をもち、将来の姿を思い描いている様子をうれしく思います。目標をもつことは、意欲ある生活の原動力になります。
- 今後も、夢や希望をかなえるためには、学校の勉強がとても大切で、学校で友達と一緒に考えたり、みんなで話し合ったり、協力して何かを作ったりする一つ一つにきちんと意義があることを児童に伝えていきます。ご家庭でも、お子さんの話をお聞きいただき、夢や希望をかなえることができるよう励ましていただきますようお願い致します。